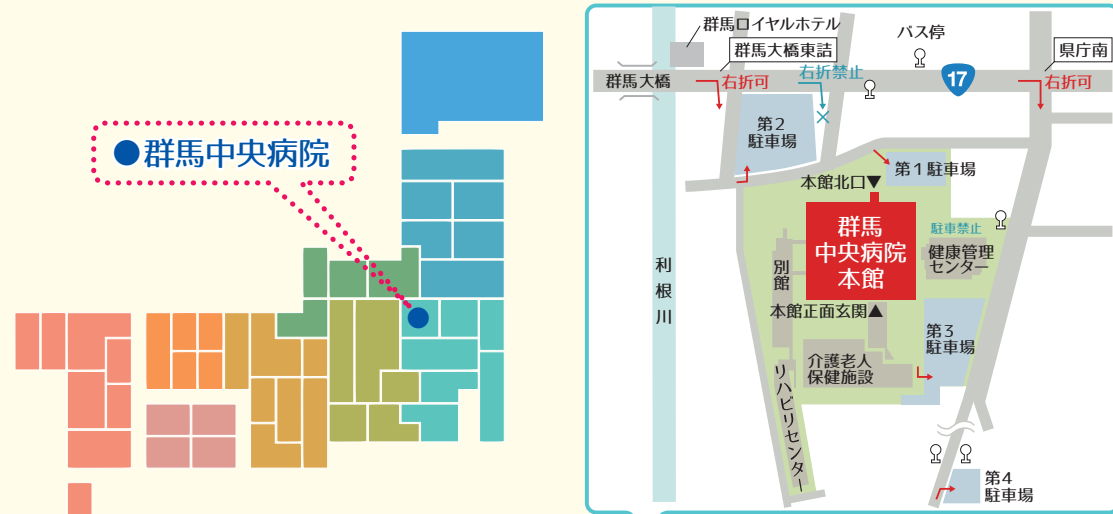
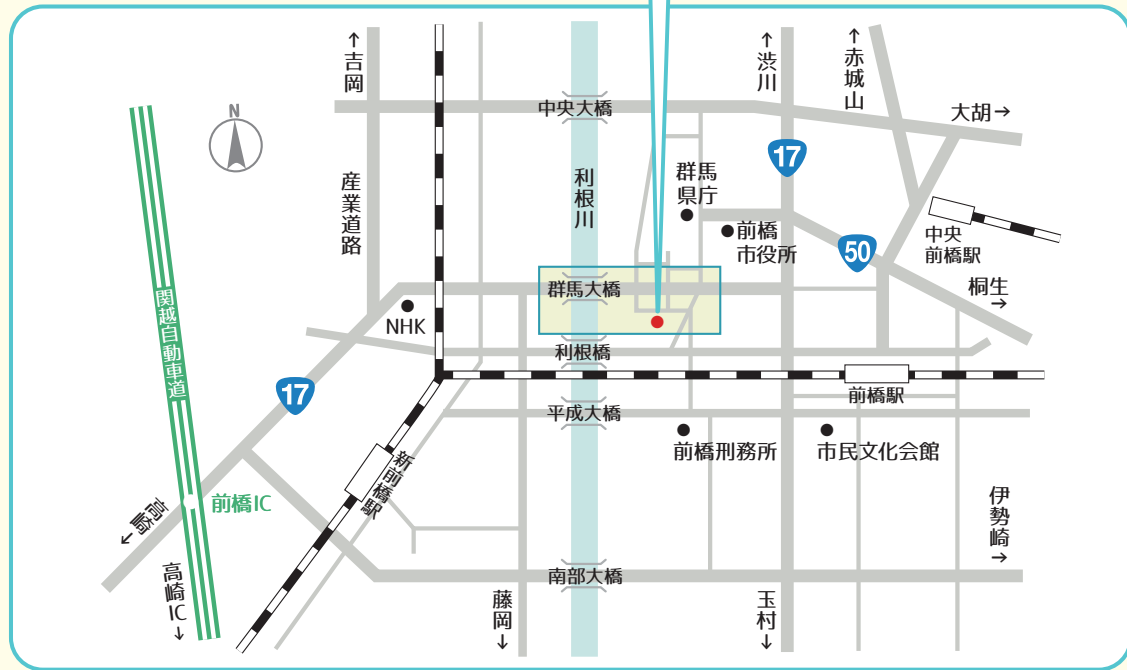




群馬中央病院アクセスマップ



※群馬ロイヤルホテルの駐車場も利用できます。
(午前中のみ)



[交通機関] ①両毛線前橋駅より徒歩20分
 ②両毛線前橋駅下車、群馬バス・群馬中央バス高崎駅行きに乗り「中央病院入口」下車徒歩1分
 ③関越道前橋インター、渋川新潟方面出口、国道17号約10分
 高崎方面より来院される方は、群馬大橋を渡り終えた群馬大橋東詰か県庁南の信号で右折ができます。

独立行政法人 地域医療機能推進機構
群馬中央病院
 初期研修医ガイド



初期臨床研修プログラム

一般プログラム

当院は、地域医療と高度医療双方を備えた群馬県の一般総合病院であり次世代を担う医療人の育成をめざすことを目的としたプログラムです。

◆プログラムの概要(一般プログラム)

必修科目	内科6ヶ月、救急部門3ヶ月、外科1ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月、地域医療1ヶ月											
	① 内科	当院が市中の一般総合病院であることから、内科では循環器、消化器、糖尿病、神経などの内科一般の幅広い研修が可能です。基本的診察、検査、治療法を習熟するとともに、患者さんやご家族との接し方、他の医療スタッフとの連携についても修学します。 ※内科は2ヶ月を1タームとして内科I(総合内科または糖尿病など)、内科II(循環器)、内科III(消化器)をローテートします。										
	② 救急部門	救急部門では、各科に搬入される救急患者のうち初期対応からの一連の流れを研修できるように、各科指導医とともに救急患者の治療にあたります。また、救急時の蘇生・挿管などは1ヶ月間麻酔科で研修し、残りの2ヶ月は内科または外科を中心に、院内各科の頻度の高い救急医療に必要な技術の習得をできる内容となっています。										
	③ 外科	指導医とともに病棟患者の担当医として、様々な疾患を理解し、診断治療の手順、術前・術後の管理、手洗い、創傷処置、手術の助手および術者などを経験できる臨床研修をします。										
	④ 小児科	新生児及び小児科診療の特性を学び経験し、基本的な診察・処置等を自ら実践できることを目指します。また、小児の一次救急を担当できるように、救急医療、薬用量、補液量、検査基準値等、年齢により異なる必須知識を修得します。										
	⑤ 産婦人科	女性診療の特性を学び、女性疾患の初歩的な診察・治療が自ら行動できることを目標とします。更に妊産婦の経過を経時的に関わることで、周産期医療に対する医療人としての責任と対応を学びます。										
	⑥ 精神科	研修協力病院である赤城病院で一般臨床医としてスライマリケアに必要とされる精神医学の基本的な知識に重点をおいて学ぶことができる研修を行います。										
	⑦ 地域医療	地域医療では、病診連携協力医のもとでの一般外来や在宅医療の研修などを行い、地域医療の実践を経験できます。										
選択科目	内科(循環器・消化器・糖尿病・総合内科)、病理診断科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・皮膚科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科の中から、研修医の希望や将来の専門性、研修到達度に合わせて研修科を選択し、各科最短1ヶ月の単位で研修が可能です。また、選択研修は群馬大学付属病院を選択することも可能です。											

※研修医個々によって、ローテーションの順序が異なります。
※必修科目のうち、内科6ヶ月と救急部門2ヶ月は1年次に研修、救急部門の残り1ヶ月と地域医療1ヶ月は2年次に研修を行います。

●ローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急部門	外科	精神科	選択研修		
2年目	地域	救急	選択研修				産婦	小児科	選択研修			

□ …10ヶ月が研修医の希望や研修到達度に合わせ、選択が可能です。

ポイント 自由度が高く将来の専門性に合わせ、ローテート方法は指導医が相談に応じフレキシブルに対応します。

NEW 小児科・産婦人科重点プログラム

将来小児科医・産婦人科を志す人のためのプログラムです。

小児科・産婦人科をはじめ、希望科に必要なと思われる科を中心に研修をします。



◆プログラムの概要(小児科・産婦人科重点プログラム)

必修科目	内科6ヶ月、救急部門3ヶ月、外科1ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月、NICU2~3ヶ月、地域医療1ヶ月											
	① 内科	当院が市中の一般総合病院であることから、内科では循環器、消化器、糖尿病、神経などの内科一般の幅広い研修が可能です。基本的診察、検査、治療法を習熟するとともに、患者さんやご家族との接し方、他の医療スタッフとの連携についても修学します。 ※内科は2ヶ月を1タームとして内科I(総合内科または糖尿病など)、内科II(循環器)、内科III(消化器)をローテートします。										
	② 救急部門	救急部門では、各科に搬入される救急患者のうち初期対応からの一連の流れを研修できるように、各科指導医とともに救急患者の治療にあたります。また、救急時の蘇生・挿管などは1ヶ月間麻酔科で研修し、残りの2ヶ月は内科または外科を中心に、院内各科の頻度の高い救急医療に必要な技術の習得をできる内容となっています。										
	③ NICU	群馬県立小児医療センターまたは、群馬大学附属病院にて小児の一次、二次医療に携わる際に必須となる基本的知識や診療手技に加えて、新生児集中治療室(NICU)や三次医療を含めた専門性の高い研修を行います。										
	④ 外科	指導医とともに病棟患者の担当医として、様々な疾患を理解し、診断治療の手順、術前・術後の管理、手洗い、創傷処置、手術の助手および術者などを経験できる臨床研修をします。										
	⑤ 小児科	新生児及び小児科診療の特性を学び経験し、基本的な診察・処置等を自ら実践できることを目指します。また、小児の一次救急を担当できるように、救急医療、薬用量、補液量、検査基準値等、年齢により異なる必須知識を修得します。										
	⑥ 産婦人科	女性診療の特性を学び、女性疾患の初歩的な診察・治療が自ら行動できることを目標とします。更に妊産婦の経過を経時的に関わることで、周産期医療に対する医療人としての責任と対応を学びます。										
	⑦ 精神科	研修協力病院である赤城病院で一般臨床医としてスライマリケアに必要とされる精神医学の基本的な知識に重点をおいて学ぶことができる研修を行います。										
⑧ 地域医療	地域医療では、病診連携協力医のもとでの一般外来や在宅医療の研修などを行い、地域医療の実践を経験できます。											
選択科目	内科(循環器・消化器・糖尿病・総合内科)、病理診断科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・皮膚科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科の中から、研修医の希望や将来の専門性、研修到達度に合わせて研修科を選択し、各科最短1ヶ月の単位で研修が可能です。また、選択研修は群馬大学付属病院を選択することも可能です。											

●ローテート例(小児科希望)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	小児科		産婦人科		救急部門		内科					
2年目	地域	救急部門	外科	精神科	NICU		選択研修			小児科		

●ローテート例(産婦人科希望)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	産婦人科		小児科		救急部門		内科					
2年目	地域	救急部門	精神科	外科	産婦人科	NICU		選択研修		産婦人科		



ポイント 少数精主義で、一人ひとりに行き届いたきめ細かい指導体制をとります。

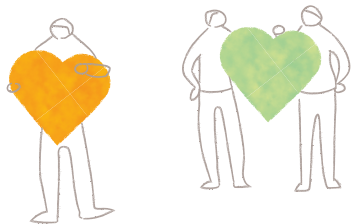
◆待遇について

身分	任期付常勤職員	勤務時間	月～金曜日、1日7時間45分 週38時間45分
休暇	土・日・祝日、年末年始休暇、規程による年次休暇、病気休暇、夏季休暇、特別休暇		
給与	給与	【1年次】452,400円(地域手当含む) 【2年次】487,200円(地域手当含む)	
	賞与	【1年次】年間 780,000円 【2年次】年間 840,000円	
各種手当等	宿日直手当 21,000円(回)、通勤手当、扶養手当		
	住居手当 ~28,000円(月)		
加入保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険		
健康管理に関する事項	年1回病院が定める健康診断を受診すること		
研修医室	研修医専用室・研修医当直室あり		
その他	院内保育所完備		



研修医室

各科紹介



総合内科

一般的な内科診療の診断学に必要なスキルと考え方を習得し、疾患に対する診断と治療に対する洞察力を身につけます。また、単一の疾患に対する見方だけでなく、類縁疾患なども含めた知識の確認や、最新の知見も含めた診断・治療方針に関する検討ができるようになる研修を行います。

循環器内科

●心臓・下肢血管カテーテル法 294件
●経皮的冠動脈形成術 155件
●FFR(冠血流予備量比) 161件
少人数制なのでカテーテルによる検査や治療を担当する機会が多くその他ペースメーカーや中心静脈確保、胸・腹腔穿刺、心エコー検査等様々な手技を勉強できます。

消化器内科

(年間12,000件を超える内視鏡検査)
急性腹症、吐血など急性疾患から炎症性腸疾患、肝疾患、消化器がんなどの診療を行っています。
消化器中心に研修を希望する方は内視鏡検査、エコー、生検技術等の習得が可能です。

糖尿病内科

糖尿病及びその合併症、内分泌代謝疾患の病態を理解し、基本的な診察法と各種検査に基づき診断し、治療・実行できるようにします。外来での初期対応、入院での糖尿病教室、食事、運動指導、インスリンを含む薬物療法を実践します。

小児科

(新生児から小児まで)
●専門病床60床(NICU機能16床)
●入院患者約1,600件
●紹介患者約2,000件
小児入院は感染症、神経疾患、アレルギー性疾患等多彩で、新生児の人工呼吸管理も多くあります。

外科

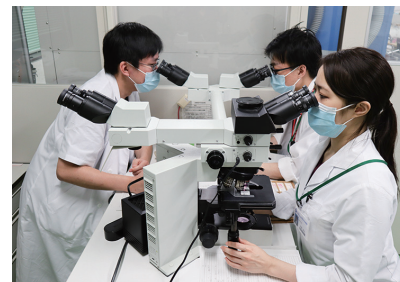
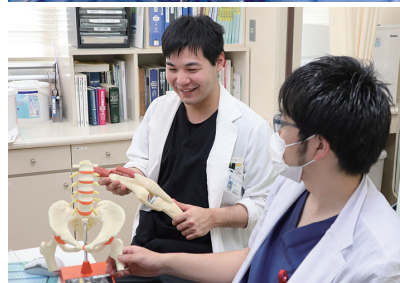
(消化器外科全領域)
手術数は603件(胃がん手術の66%、大腸がん手術の72%は腹腔鏡下で実施)
縫合・切開等の基本的な外科手技や中心静脈確保から重症患者の管理まで経験できます。

産婦人科

(分娩数586件、手術数524例)重篤な合併症を有する妊婦さんなどを24時間体制で受入れ、小児科と連携し母体、胎児、新生児の集中医療を実施。
●産科婦人科内視鏡学会認定施設
●県内の総合病院の中で分娩数は最多
●リスロダクションセンター設置

整形外科

(膝・脊椎の手術500件以上)
手術総数は772件
四肢及び脊椎の外傷、変形性疾患などダイナミックな手術から細かな作業まで自分にあう分野があります。専門性のみならず、一般整形外科疾患の治療や救急医療にも力を注いでいます。



麻酔科

(できる研修医に上げます!)
気道確保、脊髄くも膜下穿刺、静脈ライン確保から呼吸管理、循環管理、疼痛管理、などを豊富に経験できることが特徴です。
●麻酔科管理手術1,829件
●危機管理能(知識・技術・判断力)が習得できる

放射線科

1日の外来数は656人、入院数は235人なので院内の画像診断の大部分に関わっていると云えます。優れた放射線科医を目指すなら、当院の初期研修からスタートし、後期研修に移行することをお勧めします。
●病院1日の総読影量60~70件前後
●健診の1日の読影量約50件

眼科

年間手術数は約350~400件前後
手術は主に白内障手術です。また、一般診療として何でも多くの疾患を診断できるように、検査一般、診断、治療(内科的、外科的)を学ぶことができます。また、斜視、弱視治療から未熟児の診察に至るまで小児眼科を学ぶことができます。

地域医療(協力施設)

病診連携協力医のもとでの在宅研修や地域医療の実践を経験します。
2年次に協力施設のうちの2施設にそれぞれ2週間実地研修として出向します。

精神科(赤城病院)

統合失調症、うつ病、躁うつ病、器質性精神障害などのスライマリケアに必要な基本的な知識を一般臨床医として身につける。
また、向精神薬の使用法や指示的精神療法を学びます。

病理診断科

病理診断科で扱う組織件数は、ここ数年4,000件前後で推移し、細胞診の検体数は年間1万件を越えています。
検診センターで行われる一次検査から、当院で行われる精密検査、手術検体まで、一人の患者の診断、治療の全経過を診ることが出来ます。

耳鼻咽喉科

一般的な耳鼻咽喉科疾患に対して原因や病態を理解し、基本的な診断・治療ができる能力を習得します。外来では診療に必要な一連の流れを指導医のもとで経験していきます。また、簡単な手術症例も学ぶことができます。
主な入院内訳: めまい48件、扁桃炎55件、突発性難聴70件

皮膚科

主に湿疹・皮膚炎、皮膚感染症、蕁麻疹、薬疹など他科においても遭遇する機会が多い疾患や、膠原病、自己免疫性水疱症、皮膚悪性腫瘍など皮膚科専門医に委ねるべき疾患について学びます。

選択科目(群馬大学附属病院)

群馬大学附属病院において救急科・腎臓内科・血液内科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・小児科・集中治療部の選択ができます。
選択期間は1か月となります。

NICU(小産プログラム)

群馬県立小児医療センターもしくは群馬大学附属病院にて小児の一次、二次医療に携わる際に必須となる基本的知識や診療手技に加えて、新生児集中治療室(NICU)や三次医療を含めた専門性の高い研修を行います。



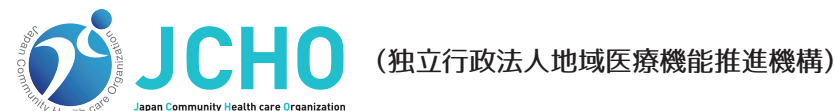
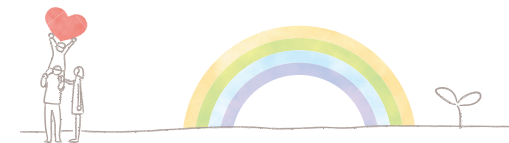
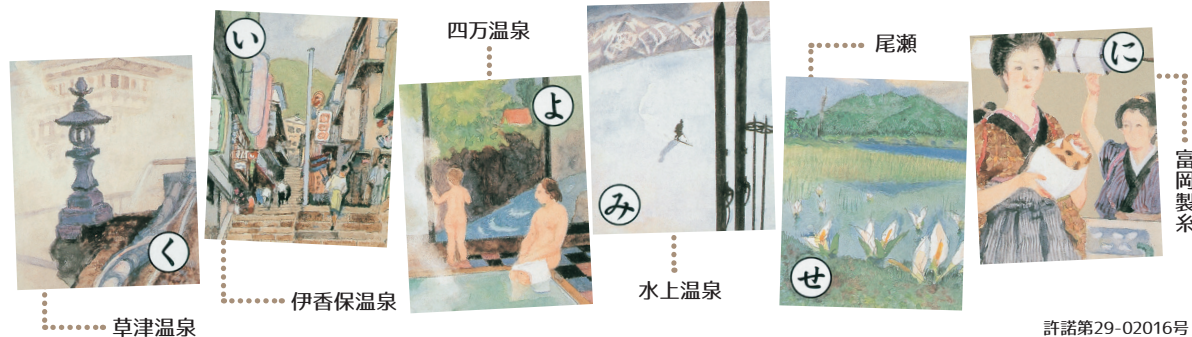
群馬中央病院の紹介

社会保険病院として昭和25年に開設しましたが、平成26年4月から独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）に組織移行したことに伴い、病院名が群馬中央病院に変更になりました。24科を標榜しており、333床の病床数を有しています。健康管理センターを併設し、附属施設としては介護老人保健施設があります。職員数は医師が133名（常勤67人）全体では701名（常勤639人、非常勤62人）となっています。前橋市の中心に位置しており、群馬県庁、前橋市役所とほぼ隣接しています。市中病院ですので、一般的な疾患から専門的な疾患まで幅広い患者さんが来院します。当院は平成17年4月から管理型臨床研修指定病院として初期研修が始まりました。本人の希望を考慮し一人ひとりに合わせた指導を受けることができます。指導医だけでなくスタッフの協力体制のもと、基本的なことはもちろん実践度の高い手技まで学ぶことができます。



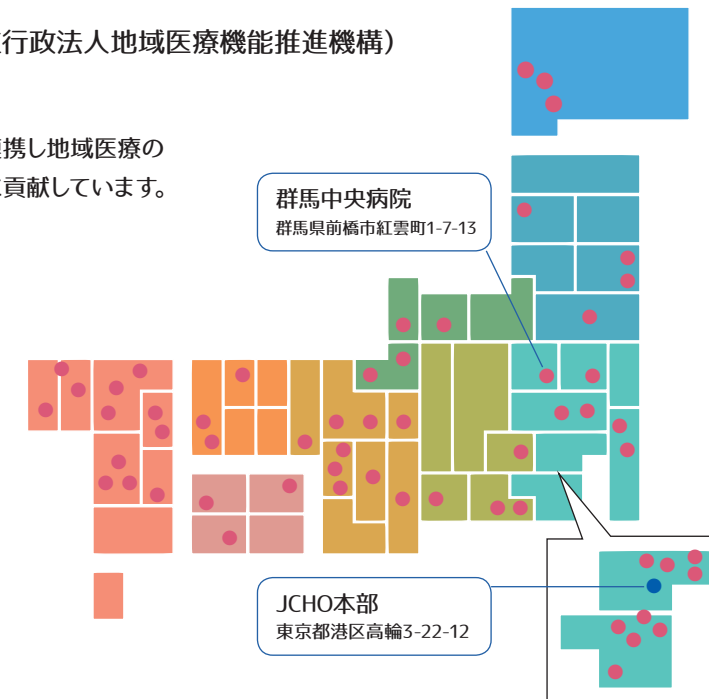
ぐんまって？

本州のほぼ真ん中にある群馬県。夏は熱く、冬はからっ風が吹きつけますが、自然災害の少ない地域です。また粉食文化の発達した群馬ではうどん、やきそば、パスタなどの麺料理をはじめご当地B級グルメの焼きまんじゅうやもんじゃ、他にもすき焼きの食材すべてを群馬県産でそろえることができるバラエティ豊かな食文化が楽しめます。群馬県人なら誰でも知っている郷土を語る「上毛かるた」。群馬には数多くの温泉があり、主な温泉だけでも草津、伊香保、四万、水上温泉があります。また、夏は尾瀬、冬にはスキーなどアクティビティも充実。世界遺産の富岡製糸もあり、知れば知るほどその魅力にとりつかれること間違いなしです！



JCHOは地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

- 病院 57
- 健康管理センター 57
- 介護老人保健施設 26
- 看護専門学校 5
- 研修センター 1
- 訪問看護ステーション 34
- 地域包括支援センター 13
- 在宅介護支援センター 2
- 居宅介護支援センター 30



研修協力病院及び研修協力施設



群馬大学医学部附属病院（選択科目）



独立行政法人地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization

赤城病院（精神科）



群馬県立小児医療センター（NICU）



伊藤内科医院（地域医療研修）



すがの内科医院（地域医療研修）



ヒルズレディースクリニック（地域医療研修）



かなざわ小児科クリニック（地域医療研修）



ほんま小児科
（地域医療研修）



中村外科医院
（地域医療研修）



ベル小児科クリニック
（地域医療研修）



たき医院
（地域医療研修）